

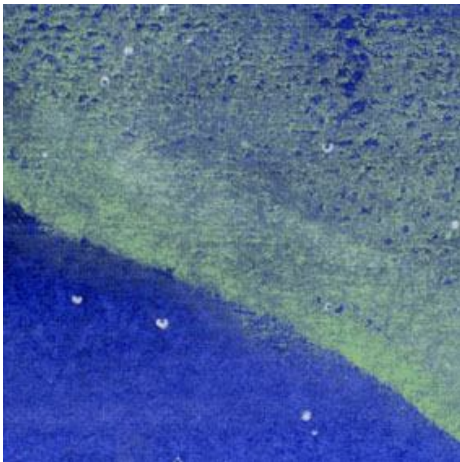
水彩画教室「極光を仰ぐ」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

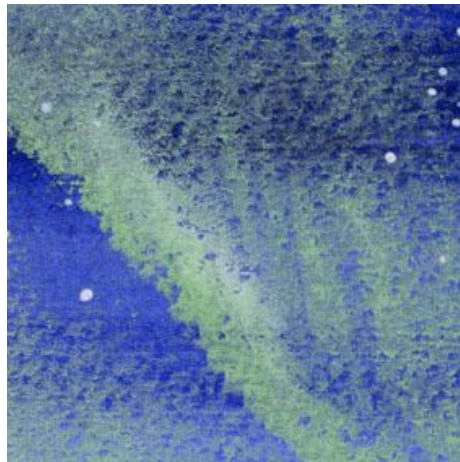
オーロラ・・・英語では“Northern lights” ドイツ語では“Nordlicht” スウェーデン語では“Norrsken”(ノルシエン)といいます いずれも「北の光」という 意外につまらない意味です しかし中国語や日本語では「極光」といいます 北見武久は小品「ラポーニアの森」の中で「私はその時、森のはずれにある三軒のストーゴーナの前で、極光を見上げていた・・・」 詩情豊かな表現だと思います 今回の旅行でこんな情景に出会えたような気がします



これが完成した絵です



1、バンドオーロラは なるべく暗い背景に 緑のパステルで描きます



2、曲線状にパステルを塗ったあと 指先で 上に向かって延ばします



3、背後の針葉樹はシルエットで その後少し雪が積もっている様子を 白パステルで描きます



4、ストーゴ(小屋)は 茶色なのですが 一色ではなく 何色か使います



5、雪面への灯火の反映は 黄色のパステルを指先で伸ばして表現します



6、右側の道は 除雪した雪の堆積の影が重要 です こういう風景は現地でたくさん見られます